WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ
イマジン ロータリー

R.I.会長　ジェニファーE・ジョーンズ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ
●会長　矢島 康夫　●副会長　小幡 晃大・三井 英和
●幹事　櫻井 雅文　●会報委員長　酒巻 弘

第２８８９回例会（令和４年11月21日）

ホームページQR

[会長挨拶]　矢島康夫　会長

皆様こんにちは。

一昨日の19日に丸子ロータリークラブ創立60周年の記念式典が盛大に開催されました。

本日は、丸山さんが今年いっぱいで退会されることになり、退会の挨拶をお願いしております。丸山さんには、長い間上田ロータリークラブに在籍をされ、ご活躍され、本当にありがとうございました。大変寂しくなりますが、お体をご自愛されまして、今後もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

クラシックホテルの会第７弾は、1934年（昭和９年）開業の蒲郡クラシックホテルの紹介です。

蒲郡クラシックホテルは、渥美半島、知多半島に抱かれた三河湾国定公園の中心に位置し、三河湾を一望する高台に建っています。目の前には天然記念物の竹島を望む眺望は絶景です。

近代化産業遺産にも認定された歴史的価値も認められた格調高い城郭風建築の外観に加え、内装、調度品は旧蒲郡ホテル伝統のアールデコ様式の建物です。

夕食は、三河湾の新鮮な海の幸を生かしたフランス料理のメインダイニングと鉄板焼きの六角堂、和食の料亭竹島を選ぶことができます。

建設当時は、蒲郡ホテルという名称でしたが、途中国土計画が買い取り蒲郡プリンスホテルとして営業、今は呉竹グループの一員となり蒲郡クラシックホテルとなりました。坂を上った先に車寄せがあり坂の途中に駐車場があります。車で行った時には、バレーサービスがありませんので、荷物を降ろして車を駐車場に停めて来ることになります。玄関を入り吹き抜けのロビーはアールデコ風の重厚な創りで、正面に建築当時からの趣があるエレベーターがあります。メインダイニングとバルコニー付きのカフェは２階にあります。客室は２階と３階にあり、海側と山側の28室ですが眺望にいい海側を選ばれたらと思います。ホテルから階段を下りて海岸に降りると、竹島に渡る橋があり竹島に行くことができます。橋の手前の公園に大正・昭和初期の文人たちに愛された旅館「常盤館」の趣を再現した文学歴史記念館があり、２か月から10年後の未来に向けて手紙を出すことができる「時手紙」のコーナーがあります。ぜひ自分の未来に向け手紙を書くことをお勧めします。

[退会記念品贈呈・退会挨拶]　丸山正一さん

私は昭和49年（1974年）１月19日に当クラブに入会し本年で49年間在籍しました。振り返りますと、色々なことが想い出され、懐かしい想い出がいっぱいです。入会当初、ロータリアンの義務の第一は例会への出席と言われており、推薦人が毎週月曜の朝に「今日は例会だよ。出張ならばメーキャップをするように。」と電話をくださいました。

メーキャップで他クラブの例会へ出席するのは、義務と権利のうち権利だと思います。

知らない町で、クラブ例会に出れば「よく来た。さあどうぞ」と歓迎してくれます。大都市などでは、例会では講演会の講師のような方が卓話をしており楽しかったです。

これは、義務と権利のうち大きな権利の表れでしょう。

本来なればもう１～２年在籍できれば良いのですが、

今夏から健康に自身が持てず、例会出席もままならず、会員としての出席義務が果たせなくなりました。その様なわけで退会することに決めました。

長い間皆様には大変お世話になりありがとうございました。

最後に上田ロータリークラブの増々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、退会の挨拶といたします。

[会員卓話]　小林秀茂さん

卓話余興アシスタント
上田シティ法律事務所
一之瀬秀司さん

皆さま、弁護士の小林です。この歴史あるロータリークラブに入会させていただき、もう既に半年が過ぎようとしております。今回は、卓話をさせていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、本日の卓話の内容ですが、どんなことを話そうかと思い悩みました。多くの先輩方にどんなことを話そうかと相談しました。そこで、まずは自己紹介や事務所の紹介をするのがいいのではないかと助言をいただき、今回は自己紹介と私の所属する上田シティ法律事務所についてお話ししようと思います。私は、憲法の教師をしていますので、憲法の話もいいなと思ったのですが、お昼の後ですので今回は、やめておこう思います(笑)。

私の経歴などお話しします。

私の経歴は、次の通りになります。

私は、1992年に上田市に生まれました。その後、地元の高校を卒業し、東京の大学に進学しました。大学の専攻は、政治学でしたが、私が進学した大学が司法試験の受験に力を入れている大学であったこともあり、司法試験の受験を考えるようになりました。大学では、司法試験の勉強も一応しましたが、私は、考古学研究会というサークルに入り、土器の採掘調査や地質の研究などに力を入れました。

大学を卒業後、大学院を経て、令和元年の司法試験に合格し、１年間の司法修習を修了し、弁護士になりました。みなさんは、司法修習という制度をご存知でしょうか。司法修習とは、司法試験を合格した者がその後、裁判官、検察官、弁護士になるための１年間の研修期間になります。この司法修習中の人を司法修習生と呼びます。司法修習生は、この１年間で自分の将来の進路(裁判官になるか、検察官になるか、弁護士になるか)を決定し、それぞれの道を進んでいきます。さて、この司法修習生ですが、始めは埼玉県の和光市にある司法研修所に集められます。そのあと、それぞれ、地方に行き、その地方で修習をすることになります。私が修習した地方は、沖縄県でした。

さて、ここで私が修習で体験したことをお話ししようと思います。沖縄では、様々な体験をしました。沖縄は、何といっても長野にはない、きれいな海があります。

次の動画をご覧ください。これは私が沖縄でダイビングをした時の映像になります。私は、４人の塊の中の、後ろ側手前にいる人物になります。

次に沖縄県には有名な離島として石垣島や宮古島があります。

これは、宮古島にいる交通安全人形の宮古守る君です。宮古島にはこの宮古守る君人形が20体います。宮古島に行った時にはこの宮古守る君20体を全部見つけ出してみてください。おそらく２日くらいかかります。

また、沖縄には、珍しい郷土料理があります。

有名なソーキそば、沖縄の炊き込みご飯であるジューシーなど素晴らしい料理が多いです。そして何といっても沖縄のあたたかい気候の中で飲むオリオンビールは最高でした。

ところで、皆さん、ここまで話していくと私があまり司法修習を真面目にやっていなかったのではないかと疑問に思われる方もいるかもしれません。大丈夫です。やっておりますよ。

その証拠に一つ、修習中のエピソードをお話しいたします。司法修習では、２か月間、地元の弁護士のもとで弁護士の仕事を近くで見て勉強する機会があります。その際、私を指導している担当の弁護士のもとに、未成年の少年が傷害事件を起こして逮捕されるという少年事件の付添人の依頼が来ました。加害者が未成年者の場合には、基本的に刑事事件とはならず、少年事件ということで家庭裁判所が少年の処分を決めます。付添人について、ここでは大まかに刑事事件における弁護人のように少年よりの立場だと理解してください。話を戻しますが、この依頼を受けて、指導担当の弁護士と私は、さっそく、少年から話を聞こうと少年がいる那覇少年鑑別所に行きました。しかし、その少年は、私たちに会っても反抗的な様子で心を開かず、事件のことはおろか、自分のことも話そうとしません

でした。その後、私と指導担当の弁護士は、少年の母親に話を聞きました。少年の家は、母子家庭であまり裕福でなかったこと、少年は、家で母親に対して優しく接していることが分かりました。指導担当の弁護士は、現在、少年が付添人に心を開かないでいることを話し、続けてこのように話しました。「お母さん、那覇の少年鑑別所では、毎朝６時ころに、少年たちが顔を洗うためにお手洗いに行きます。そのお手洗いからは、鑑別所の門が良く見えます。お子さんの為に、毎朝６時から鑑別所の門の前で、少しの時間でいいからお子さんが更生できるように手を合わせてください。そうすれば、きっといい方向に向かって行きますよ。」と話しました。その後、再び、私たちが少年に会いに行くと少年は、「先生、毎日、お袋を朝、門のところに立たせるのは止めさせてくれ。俺が悪かったんだ。」と泣きながら話し、だんだんと心を開いてくれるようになりました。

どんな人でも反省のきっかけになることは、必ずあり、それをうまく引き出して、その人を更生させていくことも弁護士の仕事の一つなのだと感じました。

このようにいろいろあった司法修習も終わりまして、令和２年12月ころ、現在の上田シティ法律事務所に入所いたしました。

続きまして、上田シティ法律事務所のことをお話ししたいと思います。上田シティ法律事務所は、山下潤弁護士が上田市中央、ドコモショップの裏側の辺りにある岩下法律事務所から独立、開業した事務所になります。開所は、令和元年です。その後、令和２年に私が入所し、現在、弁護士２名、事務員２名の体制で業務をしています。

そろそろ時間も少なくなってまいりましたので、一旦、締めさせていただこうかと思いますが、その前に今回の私の卓話に１週間前に無理を言って協力していただいた櫻井幹事、ささやさん、内川さん、事務局の髙林さん、無理を言って、順番を変わっていただいた俊恵さん、卓話の内容に関してご助言いただいた先輩方、ありがとうございました。今回の卓話にご協力をいただいた方々に感謝を示して、この卓話を締めさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

[幹事報告]　　櫻井雅文　幹事

1．地区事務所
「ロータリー財団地区補助金管理セミナー(次年度事業説明会)」及び「青少年育成基金助成金説明」開催のご案内
日本ロータリー学友会第11回総会報告

2．上田市防衛協会
「自衛隊ふれあいコンサートin上田」ご後援のお礼

3．上田青年会議所
2022年度一般社団法人上田青年会議所
年忘れの宴のご案内

4．例会変更

上田六文銭ＲＣ	11月29日㈫	定受なし
	12月20日㈫	定受なし
上田西ＲＣ	11月24日㈭	定受なし
	12月22日㈭	定受なし
	令和５年１月12日㈭	定受なし

5．会報恵送　飯田南ＲＣ

[ニコニコＢＯＸ]　　関　勇治　委員長

石井懋人さん　伊藤典夫さん　内河利夫さん　小幡晃大さん　上島孝雄さん　桑澤俊恵さん　桑原茂実さん　小林浩太郎さん　小山宏幸さん　酒井喜雄さん　酒巻弘さん　滋野眞さん　島田甲子雄さん　関啓治さん　関勇治さん　滝沢秀一さん　田中克明さん　田邉利江子さん　田原謙治さん　成澤厚さん　布施修一郎さん　丸山正一さん　三井英和さん　矢島康夫さん　柳澤日出男さん　柳澤雄次郎さん　横沢泰男さん　米津仁志さん　保科茂久さん

本日喜投額　29名　￥ 48,000
累　計　　￥863,000

[例会の記録]

司会：春原宏紀　会場・出席委員
斉唱：ロータリーソング「我等の生業」
●会員卓話　小林秀茂さん
●ゲスト　上田シティ法律事務所　一之瀬秀司さん
（卓話のアシスタント）
●会長挨拶
●幹事報告

［ラッキー賞］

関　啓治さん
（滝沢秀一さんより、秩父のお酒・秩父錦）
丸山正一さん
（滝沢秀一さんより、博多かねふく明太子）
上島孝雄さん
（酒井喜雄さんより、群馬水沢うどん）
保科茂久さん
（矢島康夫さんより、丸子60周年記念品の味噌とシャンパン）

［出席報告］　　春原宏紀　委員

	本日	前々回（11/7）
会員数	58	58
出席ベース	54	53
出席者数	44 コロナ欠席2	37
出席免除(b) （ ）内は出席者数	7(3)	7(2)
出席免除(a)	0	0
メークアップ （ ）内は Make up 後		3(40) コロナ欠席4
出席率	85.19	83.02

［本日のメニュー］

- チキンソテーカレー
- サラダ
- トマトとベーコンのスープ
- コーヒー

［次回例会予定］

12月５日(月)　慶祝
会員卓話　飯島幸宏　国際奉仕委員長

（11月28日発行）
【会報担当】金子良夫　会報委員

『ロータリーの友』電子版

今お使いのパソコン、スマホ、タブレットで『ロータリーの友』がご覧いただけます。

『友』電子版　http://rotary-no-tomo.jp/digital/index.php　ロータリーの友ウェブサイト（www.rotary-no-tomo.jp）から『ロータリーの友』電子版を読むことができます。最新号は毎月１日に公開。2014年１月号以降に発行された『友』もご覧になれます。電子版の閲覧に必要なＩＤとパスワードは、各ロータリークラブ事務局あるいはロータリーの友事務所までお問い合わせください。

ポイント1　いち早く「友」が読める

毎月１日午前０時に最新号が掲載されます。例会で配付される前に内容をいち早くチェックしよう！

ポイント2　雑誌がお手元になくても大丈夫

最新版だけでなくバックナンバー（2014年１月号～）も閲覧できます。過去の誌面を確認したい時にご活用ください。

ポイント3　外出先での空き時間を活用

スマートフォン（iPhone、Android）、タブレット（iPad、Android、Surfaceなど）で読めるので、雑誌を持ち歩かなくてもOK。

『ロータリーの友』電子版はこちらからご覧になれます